

来週の「売り物」記事はこれ



2015年2月6日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

— 天皇、皇后両陛下、パラオ共和国を訪問 —

天皇、皇后両陛下は4月8～9日、太平洋戦争の激戦地だった南太平洋のパラオ共和国を訪問されます。戦後50年の1995年には沖縄や広島、長崎、60年の2005年にはサイパンを訪れ、戦没者の慰霊の旅を続けてきた両陛下が戦後70年の節目となる今年、訪問先として選んだのは、約1万6000人の日本人が犠牲となった美しい島国でした。両陛下訪問の背景とパラオの「終わらない戦後」に迫ります。

海自元二佐がみた「死」の向こう側

知られざる「特殊部隊」という生き方

8日（日）



最悪の結末を迎えたイスラム教過激派集団による日本人人身質事件。自衛隊による邦人救出の是非がにわかに注目されようとしているなか、注目を集めているのが自衛隊の特殊部隊です。2001年以降、海上自衛隊に「特別警備隊」、陸上自衛隊に「特殊作戦群」が創設されました。対ゲリラ、対テロ作戦



に特化した和製グリーンベレーと評されながら、その実態は「極秘」の厚いベールに覆われています。特別警備隊創設にかかわった元2佐の半生をたどりながら、特殊部隊という組織の実像、さらにはそこに属する自衛官の独特の心情を描きます。それはまた、是か非かではなく、戦後日本人が避けてきた「自衛隊が守るべきものは何か」——という問いかけにもつながっていくようです。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

日本一熱い男！

松岡修造さんが愛されるワケ

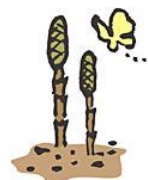
夕刊2面特集ワイド 10日（火）



「今日から君は噴水だ！」「自我を捨てろ。雪だるまになれ」。こんな意味不明とも言える熱いメッセージが次々と出てくる日めくりカレンダーが今、60万部の大ヒットになっています。元プロテニスプレーヤーでスポーツキャスターの松岡修造さんの言葉で作った「まいにち、修造！」。スポーツ解説やテニスの指導でも他の人なら「うっとうしい」と言われかねないほど熱く語りますが、なぜか爽やかな印象が残る松岡さん。「日本一熱い男」が愛されるワケを探りました。

「TOKIO 城島 出会いに感謝」おんなのしんぶん 8日（日）

隔週で連載中の人気アイドルグループ・TOKIOのリーダー、城島茂さんのコラム。今週のタイトルは「春を待ちわびて」。城島さんが苦手な意外な「寒い場所」や、防寒対策に欠かせないある物が進化したことなどをつづっています。



受験生に「必勝弁当」

くらしナビ面7日(土)



受験シーズン真っただ中。しっかり栄養をとり、万全の体調で本番に臨みたいですね。管理栄養士の竹内富貴子さんに、合格の春を呼び込む「必勝弁当」の作り方のポイントを聞きます。お弁当の食材は傷みやすいものや消化の悪いものは避け、しっかり火を通すのが基本。脂っこいものは消化が悪いので「トンカツ」にもひと工夫凝らします。

連載・がん社会はどこへ

くらしナビ面10日(火)から6回

がん患者が、どうすれば安心して治療を受けられるのかを考えるシリーズ。第1部では医師とのコミュニケーションに戸惑い、がんを巡ってあふれる情報に翻弄される患者たちの姿に迫ります。医師といかに信頼関係を築いていくか、情報の取捨選択をどう行うべきなのか、ともに考えます。



「月刊都市対抗」スタート

10日(火)から毎月第2火曜日掲載

球春到来。社会人野球の各チームは、7月の第86回都市対抗野球大会(毎日新聞社、日本野球連盟主催)出場を目指して始動しました。今月から第2火曜日に、黒獅子旗獲得に向けた各チームの様子、選手の意気込みなどを紹介します。初回は「社会人野球で成長すること」をテーマに、トヨタ自動車(豊田市)の佐竹功年投手、ホンダ(狭山市)の西郷泰之内野手に語ってもらいます。このほか指導者らに聞く「黒獅子讃歌」には、元日本生命(大阪市)監督でアトランタ五輪コーチの井尻陽久さんが登場。「都市対抗なるほドリ マネジャー訪問編」もお楽しみください。これまで第2火曜に掲載していた「SPORTS×LIFE」は第5火曜日に随時掲載とし、次回は3月31日に掲載予定です。

「千の証言」特集面

「戦時下の生活」

14日(土)朝刊

今年が戦後70年であることを踏まえ、戦争体験者の証言を集め、後世に伝える毎日新聞社とTBSテレビの共同プロジェクト「千の証言」で、1ページ全面を使った特集面を組みます。テーマは、物資が乏しく学童疎開もあった「戦時下の生活」。体験者から記者が聞き取ったストーリーとともに、全国から寄せられた戦争にまつわる投稿を紹介します。特集面は今年12月まで月1回、さまざまなテーマで戦争の悲惨さを伝えます。

